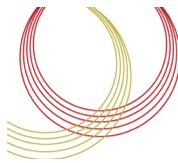


せったん

第202号 2026年1月25日

● 発 兵庫県保険医協会北摂・丹波支部
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
● 行 神戸フコク生命海岸通ビル5階
TEL078-393-1801 FAX 078-393-1802

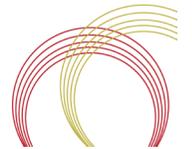
北摂・丹波支部ニュース



年頭のごあいさつ

ぜひ若い先生方のご参加を期待します

支部長 中西 透



新年明けましておめでとうございます。

日頃より会員の先生には支部活動にご支援、ご協力をいただき感謝申し上げます。

令和7年の支部企画7回の研修会・市民参加上映会・会員懇談会はほぼ順調にいったと思えます。また支部の会員増減は3名増となり203名から206名となりました。

わたくし、前期高齢者になった時には残りの人生を有効に使おうと思っていました。が診療・家庭・地域の役等に追われ、あつという間に2年が過ぎ年男になってしまいました。そうしているうちにすぐ後期高齢者のドアが目の前にくるのでしよう。

また開院して40年余が過ぎ、振り返ると若い勤務医・職員共に何も問題なく診療

を続ける事ができました。何よりも職員には感謝で一杯です。この先、徐々に衰えていくので益々頼りにして頑張っていこうと思えます。急に診療を辞めることは不可能ですからぼちぼちとソフトランディングしていく、余裕を作り今後趣味の時間を増やせたら嬉しいです。医療機関を取り巻く状況は良くないですが今回の点数改定に期待し、これから署名活動等を行い展望が見えるようにしたいです。

例会出席の先生方の年齢が高くなる一方なので支部の若い先生の力が必要になります。このままいくと支部の存続が怪しくなります。是非若手の先生の例会出席を期待しております。本年もどうぞよろしくお願いたします。

「緊急財政措置と診療報酬の大幅引き上げを求める」院長署名にご協力ありがとうございました！

北摂・丹波支部の先生方から寄せられた私の一言を紹介する(抜粋)。

◇物価高や光熱費上昇、人件費上昇などのため、病院経営は厳しくなっている
◇職員の賃上げだけ要求され、雇い主側の収入は維持されたままで納得出来る訳がない
◇丁寧な診療で一日何名を診療すればクリニックの収支が整うように国は考えているのか。数値設定は？物価連動と労働者を守るとは？

◇このままではスタッフの給料を上げることができません

◇私たち医療人はこのままの診療報酬では生活できなくなります

◇最近では、医療機関のパート対応の時間給が他業種と比べて同等か、むしろ低くなってきています。医療機関では診療料の引き上げに改善方法がありません
◇日祝も、年末年始も診療します。何とか頑張らせてください

◇開業医は勤務医より高給取りであってはいけないよ
うな風潮がありますが、地域のかかりつけ医として患

ご予約ください!

2026年新点数研究会のお知らせ

<医科> 日時 4月4日(土) 14時~16時
会場 三田市・キッピーモール6階 多目的ホール
<歯科> 日時 4月16日(木) 18時~
会場 三田市・キッピーモール6階 多目的ホール



2500筆の署名が寄せられた

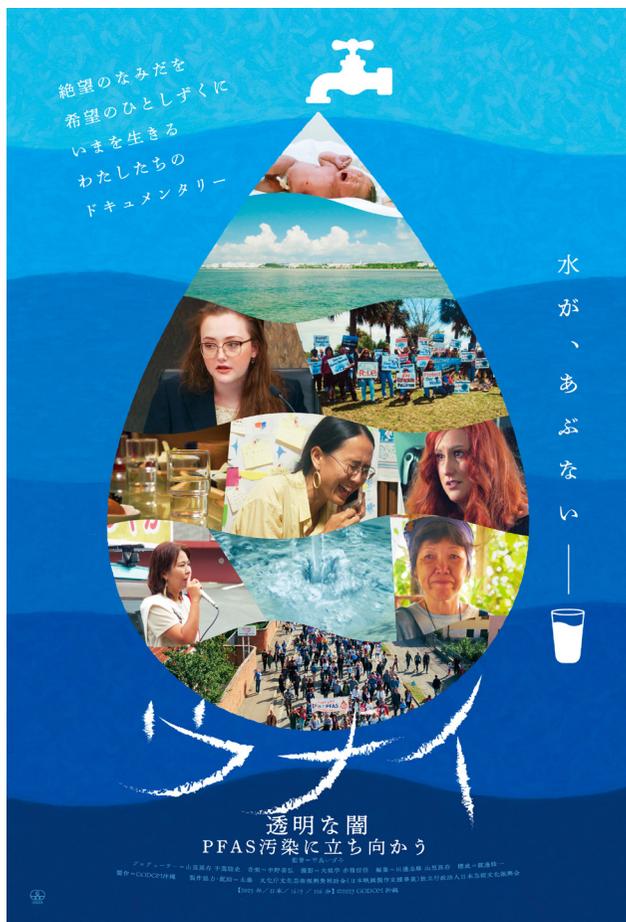
者さんに寄り添い命を削りながら頑張っている人もいることを知ってほしいです
◇金属代の高騰、人件費上昇、材料代の上昇により歯科医院の現場はもう限界に達しています。診療報酬の大幅な引き上げをしなければ半数の医療機関が消滅します。国民に対する医療の提供がストップしてしまいます

市民公開企画

兵庫県保険医協会 北摂・丹波支部主催

水が、あぶない— 絶望のなみだを 希望のひとしづくに

映画『ウナイ 透明な闇 PFAS 汚染に立ち向かう』 上映会 & 学習会



水が、あぶない—

近年、全国各地での環境汚染が報じられているPFAS(有機フッ素化合物)。兵庫県でも明石川流域で高値が検出され、その後、他の地域でも高値の地点が明らかになっています。

このPFASについて、県内で初めて住民の血液検査を実施した兵庫県民主医療機関連合会の取り組みと健康への影響について、PFAS問題プロジェクトチームの責任者であり、PFAS相談外来を開始した瀧本和雄先生にお話しいただきます。沖縄県のPFAS汚染を追ったドキュメンタリー映画『ウナイ 透明な闇 PFAS汚染に立ち向かう』の上映とあわせてぜひご参加ください。

<タイムスケジュール>

13:30 ~ 映画上映 (106分)
15:30 ~ 学習会

「PFAS運動の取り組みと 私たちの健康」

講師 兵庫県民主医療機関連合会
東神戸病院
兵庫民医連 PFAS 問題プロジェクトチーム責任者
医師 瀧本 和雄 先生

どなたでもご参加いただけます!

3月1日(日) 13:30 ~ 16:30(13:00開場)

会場/三田市・キッピーモール6F 多目的ホール (JR三田駅前)

参加費/無料

(1面からのつづき)

◇この要望に対して1mmでも前に進める為には自民党政治を終わらせ、国民が主体の政治がなされる必要がある

◇診療継続がづらいです

◇地域医療崩壊を防ぐため今すぐ対策を!

◇約1年半前の保険点数改定時より、材料等が高騰しているにもかかわらず、それに合わせた改定が行われていない。特にパラの高騰は著しいが、3か月に1回の低改定では実際の購入価格から著しく乖離しており、全く意味をなしていない。

◇輸入企業には消費税還付金を払っていますが同じエンドユーザーから消費税をいただけない医療も介護も還付金は0です。消費税廃止をお願いします

映画『ウナイ 透明な闇 PFAS 汚染に立ち向かう』解説

すべては2016年に沖縄県が開いた会見から始まった。「県民45万人に供給する水道の水に化学物質PFASが含まれていた」との発表を受けて、多くの人々の反応は「PFASって何?」というもの。すぐに関心が高まったわけではなかった。やがて立ち上がる女性たちも当初は他人事だった。しかし、米国ではすでに、がん、低体重出生など、健康影響が確認されていた。その深刻さに女性たちは気づいていく。

「他のお母さんたちにも知らせなきゃ」と、彼女たちは街頭で涙ながらに訴え、調査や浄化を求める。しかし、沖縄では汚染発覚から9年経ってなお、汚染源の特定すら出来ない。なぜか!? 汚染源とみられる基地への立ち入り調査を米軍が拒み続けるから。それでも、子どもたちのために諦めるわけにはないと徒手空拳の闘いを続ける女性たちは国連を目指す。一方、米国や欧州ではPFASの毒性を重くみて規制の波が押し寄せる。その波を起こしたのは女性たちだった。こうした国の人々は、彼女たちの声に耳を傾け、現実を変えてきた。日本人は何をしてきたか?



監督=平良いずみ
プロデューサー=山里孫存 千葉聡史
音楽=半野喜弘 撮影=大城学 赤嶺信悟
編集=田邊志麻 山里孫存 構成=渡邊修一
製作=GODOM 沖縄 製作協力・配給=太秦 文化庁文化芸術振興費補助金(日本映画製作支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会【2025年/日本/16:9/106分】
©2025 GODOM 沖縄

申込方法

電話・メールで

代表者氏名、電話番号、参加人数をお知らせください

スマートフォン・パソコンから

右記QRコードまたはURLより申込フォームにアクセスし、必要事項を入力後、送信してください



<https://x.gd/HseA7>

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F
TEL: 078-393-1801 FAX: 078-393-1802 Email: hirai-y@doc-net.or.jp
兵庫県保険医協会 北摂・丹波支部 平井まで

※当日の受付も可能ですが、定員(100名)がございまして、2月26日までにお申込ください